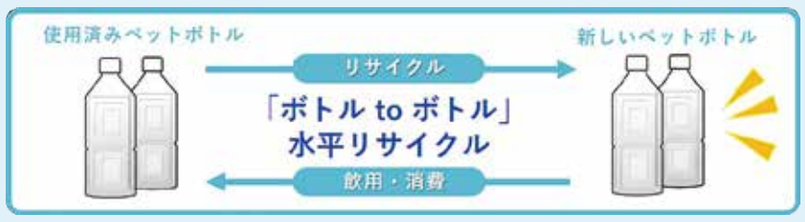
リサイクルマークによる出し方

これら5種類のマークの表示があるものは、
マークに従った出し方にご協力ください。

ペットボトルにつけられるマーク
➡**ペットボトルとして出してください。**

飛騨市から回収されたペットボトルは
すべてリサイクルされ、サントリー製品
のペットボトルへ生まれ変わっています！

ペットボトルを資源として循環させることで、**化石由来資源の削減と約60%のCO_2排出量の削減**が可能になります。



ペットボトルに油性ペン等で記入したものや、塗料がついたものはその部分を切り取ってください。
切り取った部分や汚れたペットボトルは可燃ごみとして出してください。

プラスチック製容器包装につけられるマーク
➡ プラスチック類として出してください。
出し方のルールはP17－18をご覧ください。

プラマークの表示があるものは、プラスチック類として出してください。
プラマークが付いているものはペットボトルとして出すことはできません。

紙製容器包装につけられるマーク
➡紙類として出してください。
出し方のルールはP15－16をご覧ください。

ダンボール	そのダンボールが、リサイクル可能であることを示すためにつけられるマーク ➡ **ダンボールとして出してください。**
紙パック	その紙パックが、リサイクル可能であることを示すためにつけられるマーク （内側が白色のものに限る） ➡ **紙パックとして出してください。**

十字にしばって出してください。
①24時間資源回収ボックスへ出す。
➡ **利用についてはP19をご覧ください。**
出し方の注意点はP23をご覧ください。
②飛騨市リサイクルセンターへ直接搬入する。

ごみの分別方法についてのお願い

飛騨市リサイクルセンターでは市内から出た資源ごみを作業員が選別しています。なかには正しい分別方法がされていないものがあります。分別方法を確認していただき、正しい分別にご協力をお願いいたします。

ヨーグルトカップ（4個パック）の分別方法

ヨーグルトカップ

リサイクルセンターに搬入された紙ラベルが残ったままの様子

【写真の例】
フタ・ラベル ➡ 紙マークがあるため、はがして紙類(オレンジ色の袋)として出してください。
カップの部分 ➡ プラマークがあるため、洗って乾かしプラスチック類(水色の袋)として出してください。
※フタ・ラベルについて
➡ 紙マークがない場合、はがさずそのままプラスチック類(水色の袋)として出してください。

乳酸菌飲料（小ペットボトル）の分別方法

ラベルをはがし、キャップを外してください。

キャップ ラベル ➡ ラベルとキャップはプラスチック類（水色の袋）として出してください。

PET ボトル ➡ ボトルは洗って乾かしたら ペットボトルとして出してください。

これらはすべて可燃ごみとして出してください。

ドリップコーヒーの切り取った部分

不織布マスク

シュレッダー紙

パンチ（穴あけ）で出たごみ

分別方法を 見える化

リサイクルを更に推進するためには、市民の皆さんに分別の必要性を正しく理解していただく必要があります。ぜひ飛騨市資源ごみリサイクルガイドを活用ください。

※リサイクルガイドは、飛騨市　環境課ホームページから確認できます。